

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名: 生命機能研究科

【評価区分 1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分 2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分 1 及び評価区分 2 に基づく評価
A	A	A

【評価区分 1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評 定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【研究】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【社会貢献】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【グローバル化】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 海外の卒業時期に合わせた入試制度と Skype を用いた海外在住受験生との面接制度等により、正規学生に占める外国人留学生の割合が増加した。また、研究科長のリーダーシップにより、外国語による授業科目 3 科目を新設し、教育のグローバル化がさらに進展したことが評価できる。
【業務運営】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。